

稲沢市  
一色城跡  
発掘調査通信

## 第4号 地元説明会を開催しました

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター  
株式会社 島田組

一色城跡の発掘調査現場では、11月2日（土）に地元の皆さまにこれまでの調査成果をお伝えする地元説明会を開催しました。約100名のご来場があり、厚くお礼申し上げます。説明会では、奈良時代の建物跡や出土遺物をご覧いただくことができました。

先週は、その奈良時代の竪穴建物跡の周辺で、幅約1mの溝が、直径約6mの円形にめぐる周溝状遺構を調査しました。小さな古墳のようですが、溝の底からは奈良時代の土器が出土しており、その性格はまだ検討が必要です。またその東側には、井戸と考えられるすり鉢形の遺構があります。

そして今週からは、一色城跡の推定地に一番近い場所の調査が始まっています。尾張水道みち（旧・尾張サイクリングロード）のすぐ近くですので、調査しているところをご覧になれます。大きな溝（あるいは堀？）などの発見があるかもしれません。



図（左上）地元説明会での調査員の解説（11月2日）  
（左下）井戸と考えられる遺構。底からモモ核（一般にモモの種と呼ばれるもの）が出土。  
（右）周溝状遺構（西から）とそこから出土した奈良時代の須恵器（すえき）